

# 令和4年度根室管内道徳教育推進研修だより

北海道教育庁根室教育局教育支援課義務教育指導班

## 子どもたちの自尊感情の醸成に向けて

令和4年12月7日（水）、別海町立中春別小学校において、「根室管内道徳教育推進研修」を行いました。本研修会では、子どもたちの自尊感情の醸成に向け、授業公開や講演、シンポジウムを行いました。そこで、本研修の成果を広く周知し、各学校や先生方の今後の取組の充実につなげたいと考え、本資料を発行することとしました。

### 【授業】第2学年「友達を思う心」【B-10 友情・信頼】について

#### 授業の概要

##### ○ねらい

「森のともだち」という教材を通して、友達とけんかをして、友達の気持ちを考え、仲直りする道徳的実践意欲と態度を育むこと。

【価値観】	友達と一緒に活動して楽しかったことや友達と助け合って良かったことを考えさせながら、友達と仲よくする大切さを考える。
【児童観】	内容項目と他教科、特別活動との関わりを踏まえて児童の実態を捉えた。
【教材観】	「森のともだち」という教材を使って、友達と仲よくする大切さについて考える。

#### 【成果】

価値観、児童観、教材観など、指導観を明確にしたことにより、児童は、「これまでの自分は、友達の気持ちを考えていたか」について、これまでの自分の経験やそのときの感じ方、考え方と照らし合わせながら、さらに深めようとする姿が見られたこと。

#### ＜次のような道徳科の指導になっていませんか？＞

- 主題やねらいの設定が不十分な単なる生活体験の話し合いの指導
- 読み物教材の登場人物の心情理解のみに終始する指導
- 望ましいと分かっていることを言わせたり書かせたりすることに終始する指導

#### ＜指導の意図を明確にするために＞

- ① ねらいとする道徳的価値（内容項目に含まれるもの）について、学習指導要領に基づき、明確な考えをもつ。
- ② ねらいとする道徳的価値について、且頃どのような指導を行い、その結果として児童生徒にどのようなよさや課題があるのか、その上で、本時で学ばせたいことは何かを明らかにする。
- ③ 授業者の明確な意図、児童生徒の実態をもとに、教材をどのように活用し、どのような学習を行うのかを明らかにする。

### 【講演】「最後までやり遂げることの大切さ～自尊感情を育む～」郷 亜里砂さん



#### ○講師の言葉

- ・やり続けることが自信につながった
- ・苦しいときに、家族や仲間の支えがあった
- ・多くの人の支えによって自分を信じていることができた



#### ○参加者の感想から（自尊感情を醸成する上で大切だと感じたこと）

- ・目標のために、自分で目標や計画を立てること
- ・続けていく勇気を大切にすること
- ・子どもを信じて、支え続けること
- ・褒めることや感謝の思いを伝えること

### 【シンポジウム】子どもたちの自尊感情を育むために

根室管内の子どもたちは、「自分にはよいところがある」と回答した割合が全国と比べて低い傾向にあることから、子どもたちの自尊感情の醸成に向け、道徳科はもとより、あらゆる教育活動を通じて、道徳教育を一層充実させる必要があります。シンポジウムでは「子どもたちの自尊感情を育むために」というテーマで、学校、PTA、行政の立場から、それぞれの果たす役割や具体的な取組の在り方について理解を深めることを目的として、実施しました。



#### ○シンポジスト「今後取り組んでいきたいこと」

- 別海町教育委員会指導参事 吉光寺 勝己氏 「連携から協働へ」  
 中春別学校区学校運営協議会会長 青野 芳樹氏 「学びのプロになろう！」  
 中春別学校区学校運営協議会副会長 岩浅 圭一氏 「わかりやすさ・Re（何度でもやり直せる）」  
 別海町立中春別小学校長 若松 正氏 「ほめる」  
 別海町立中春別中学校長 岩崎 撰也氏 「学校に、家庭に、地域に子どもの居場所を！」